

総合格闘技における女性の進出

The advance of the woman in mixed martial arts

1K04B184-9

樋口 直敏

指導教員

主査 中村好男先生

副査 小野沢弘史先生

【緒言】

かつて、女性はスポーツに参加することすら許されていなかった。しかし、現在女性はあらゆるスポーツに進出し、輝かしい活躍を遂げている。また、男性を象徴するスポーツだと思われていた格闘技という分野にも、女性が進出し成功を収めている。

では、何故今、女性が格闘技に進出し、成功を収めているのか。『女子総合格闘技』に焦点を当て、考察をしていきたい。

①男子総合格闘技という基盤

女性がスポーツに進出した当初、女子スポーツは男子スポーツの一部に組み込まれた形で登場した。それが独立する際には、既に出来上がっていた男子スポーツという基盤を利用したため、スムーズに独立を果たすことが出来たのである。それと同様に、女子総合格闘技も男子総合格闘技という基盤があったために、社会にスムーズに受け入れられることができたと考える。

②男女の垣根

女子スポーツ選手は、一般の女性に比べて高い活動性、強い攻撃性、外向性などの人格的特徴をもっている者が多い。しかしながら、これらの特徴はスポーツによって形成されたのではなく、また、スポーツ選手として求められる適性でもなく、運動に対する興味と強く結びついて性度という特性を形成していることが明らかにされている。

つまり、男性性の強い女性がスポーツに参加しやすい。男性性の強いスポーツである格闘技に参加する女性は、特にそういったことが言えるのではないか。このように、格闘技を始める女性が増えている現代では、男女の性別的な差、性差がなくなっているのではないかと考える。

③美人女子格闘家の登場

女子スポーツにおいて、人気を獲得するためには、実力は勿論のこと、ビジュアルが重要視される。それは女子総合格闘技にも言えることであり、強さと美しさを兼ね備えた美人女子格闘家の出現が、現在の女子総合格闘技の人気に一役買っている。

④日本人選手の活躍

どのスポーツにおいても日本人は、意識的にも無意識的にも日本人を応援する。日本人の活躍を好むのである。こと女子総合格闘技は日本人選手が活躍している。細かく階級分けされることにより、外国人選手との体格的不利がなくなるのである。日本人でも技術さえあれば活躍できる場が確立されている。

⑤可能性

男子総合格闘技において、第一線で活躍している選手は、柔道やレスリングといったバックボーンがしっかりしている。それは女子総合格闘技にもいえることで、柔道やレスリング経験のある選手が活躍している。しかし渡邊久江という選手は違う。格闘技的な備蓄が全くないところから、総合格闘技界に飛び込んできた選手なのである。そういった選手が、華々しい活躍を続けているのである。こういった選手の活躍によって、格闘技経験のない女性でも、「自分にもやれるのではないか」という可能性を与える。またこういった選手の活躍が格闘技を始めるきっかけになると考える。

⑥コアなファンの支え

容姿端麗で引き締まった身体的女子選手同士が、ガチンコで殴り合い、極め合う真剣勝負を見て、強い女性に性的嗜好を向ける男性がいてもおかしくない。少なからず、そういった男性ファンが女子総合格闘技人気の一部を支えているのではないかな。

⑦二面性

「女らしさ」をなくすことによって、妥協しない迫力ある試合を展開する、そして「女らしさ」を生かすことによって、女性の特長である美しさで見るものを魅了する。この二面性は男子総合格闘技にはない強みである。

【まとめ】

女性が格闘技に進出し、『女子総合格闘技』というスポーツが成功している理由は、以上の 7 つの理由だと考える。

また、女性が、かつての社会的偏見や古い慣習を打破し、社会的地位向上や女性解放を達成してきた結果である。